

スタディング弁理士講座で「AI実カスコア」機能を提供開始！ 現時点の実力を可視化し、長期間にわたる学習を大幅に効率化

～あなたの日々の学習の積み重ねをスコアで表示～

オンライン資格取得講座「STUDYing(スタディング)」を提供するKIYOラーニング株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長:綾部貴淑）は、「AI実カスコア」機能*の提供を弁理士講座で開始しました。

「AI実カスコア」機能は、AI（機械学習）を活用し、個人の学習データから現在の実力をリアルタイムで判定・確認できる機能です。本機能は、すでにスタディング司法試験・予備試験講座、社会保険労務士講座、中小企業診断士講座、宅建士講座、各種情報処理技術者講座、ビジネス実務法務検定試験®講座、1級建築士講座、簿記3級・2級講座の10講座で先行して導入されています。今回、11講座目として、理系最高峰の資格とも言われる弁理士講座に導入いたしました。本機能は、他の講座についても今後順次対応していく予定です。

AI実カスコアでは、スタディングに蓄積されている膨大な学習履歴データや問題の正答率、試験成績データ等の得点データをAIが分析し「あなたが今、試験を受けたとしたら何点取れるのか？」をAIを使って予測します。これにより日々学習を進める中で、現在の科目別・単元別の実力をリアルタイムで把握できます。「あと何点取れば合格ラインに届くのか」「どこが苦手な単元なのか」などが分かることにより、効率的な試験対策が可能です。

*特許番号（特許第7021758号）

*AI実カスコアはKIYOラーニング株式会社の登録商標です。



*AI実カスコアは、実際の試験の得点・合格を保証するものではなく、当機能の利用に伴う損害・不利益について当社は一切その責任を負いませんのでご了承ください。

*AI実カスコアは、弁理士試験 短答式に対応しています。

■「AI実カスコアの推移」で成長を可視化

日々の学習によって上昇するAI実カスコアの推移をわかりやすいグラフで確認することも可能です。全科目合計の推移と合格ラインを確認できるほか、科目ごとに推移を確認したり、日ごと・週ごと・月ごとの細かい単位での推移を確認することが可能です。

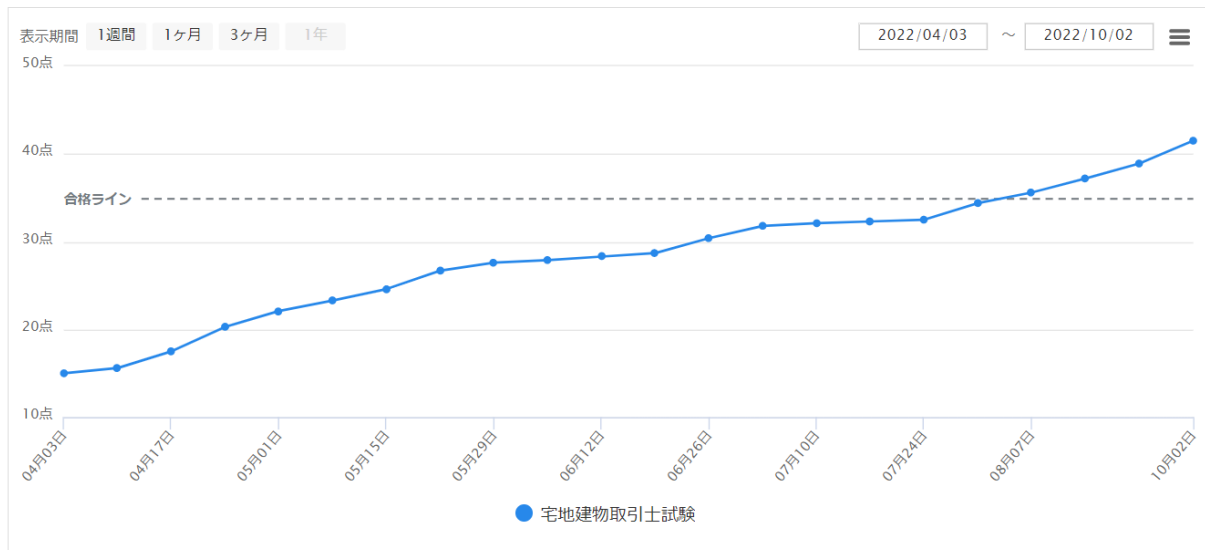
2023年5月の「AI実カスコアの推移」実装以降、スタディング受講生からは「少しずつだがAI実カスコアが伸びているのが楽しい」「わずかずつでも上がっていくスコアを確認するのが楽しみ」という声が届いています。

「学習を始めた時期に比べ、どのくらいスコアを伸ばすことができたのか」「どのくらい合格ラインに近づけたのか？」受講者はAI実カスコアが変化の様子を視覚的に把握できるようになり、着実に学習を積み重ねて実力を伸ばしてきたことを実感できます。これにより、受講者の学習のモチベーションをさらに高め、学習の継続をサポートします。

AI実カスコアの推移

表示科目 全科目合計

日 週 月



*上記のAI実カスコアの推移は、宅地士講座の例です。

■弁理士講座における「AI実カスコア」機能提供の理由

弁理士は特許、実用新案、意匠、商標などの知的財産全般を取り扱う専門家であり、希少価値が高く、独占業務も有することから安定した需要がある人気の資格です。一方、資格試験の難易度は高いことから、挫折を経験する受験者が少なくありません。単純に問題が難しいというだけではなく、科目ごとに合格基準点があり、広い出題範囲をまんべんなく学習しなければならず、試験対策が長期化する点も試験の難易度を上げる要因の一つです。

このような試験であることから受験者は苦手科目や単元を作らないよう学習バランスを調整しつつ、試験まで完走することが求められます。しかしながら、自身の苦手科目や単元を克服しながら長期間モチベーションを維持し続けるのは難しく、受験者の合格点到達を阻んできました。

弁理士試験において、この「AI実カスコア」は上記のような講座受講者の抱える課題を解決し、学習効率を飛躍的に向上させることが期待できます。「AI実カスコア」は、今試験を受けたら何点取れるかをAIが予測し、合格点をクリアするためにどの科目、どの単元で何点伸ばすべきかが一目瞭然となります。そのため、受講者自身での苦手科目や単元の管理が容易になり、試験合格に必要な部分を伸ばすことができますので、学習期間を短縮して効率的に試験合格を目指せます。

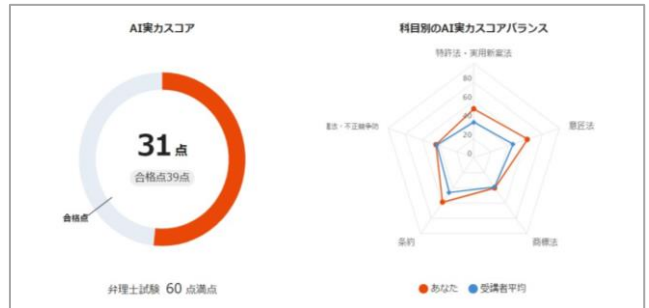
また、機能の1つである「AI実カスコアの推移」は、これまで受講者が学習してきた努力の軌跡を視覚的に確認することができます。自分自身が着実に成長している様子を知ることで、長期間に及ぶ学習の中でのモチベーション維持にもお役に立ていただけます。

■「AI実カスコア」機能でできること

1) 得意不得意の偏りをなくし科目ごとの合格基準点未達を回避。 試験本番の成績データも分析対象とし予測精度を向上。

「AI実カスコア」では、実際の試験本番と同じ科目／得点形式に沿って、弁理士 短答式試験の5科目がそれぞれスコア化されます。科目ごとに実力を把握できますので、得意不得意の偏りをなくし、科目ごとの合格基準点未達での不合格回避にお役立ていただけます。

また、弁理士講座では、過去の講座受講者から頂いた試験本番成績データもAIの機械学習の対象としました。AIがスコアをリアルタイムに予測する際に、同講座の学習履歴と試験本番の得点結果の分析を反映しているため、より正確な成績予測が期待できます。



2) 他者との比較が可能

「AI実カスコア」では、全体スコア、科目別スコア*1、単元別スコア*2について、全受講者中（過去1年間以内に学習した受講者中）の「あなたの位置」を表示します。これにより、他者と比較したときの、自分の強み・弱みがわかるため、さらに効率的な学習が可能になります。

*1：科目別スコアは、科目配下のいずれかの単元に関連する問題を、1回でも学習した受講者の中での位置を表示しています。

*2：単元別スコアは、その単元に関連する問題を、1回でも学習した受講者の中での位置を表示しています。



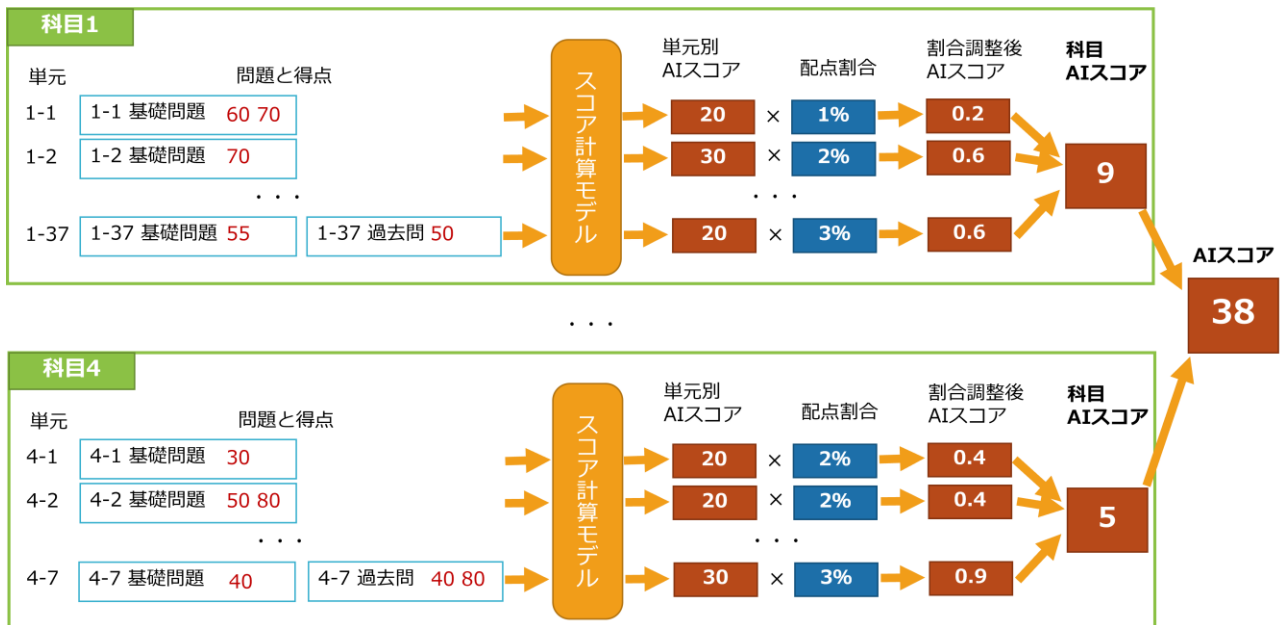
3) 苦手な単元をすぐに復習可能

「AI実カスコア」のレポート機能では、苦手な単元を把握するだけでなく、現在選択中の学習フローに存在する、その単元に関する問題が表示されるため、すぐに復習をすることが可能です。



■ 「AI実カスコア」機能の仕組み

「AI実カスコア」では、単元ごとのAI実カスコアを求め、それをもとに単元の配点割合を調整したうえで科目ごとのAI実カスコアを求め、最終的に試験全体のAI実カスコアを計算します。

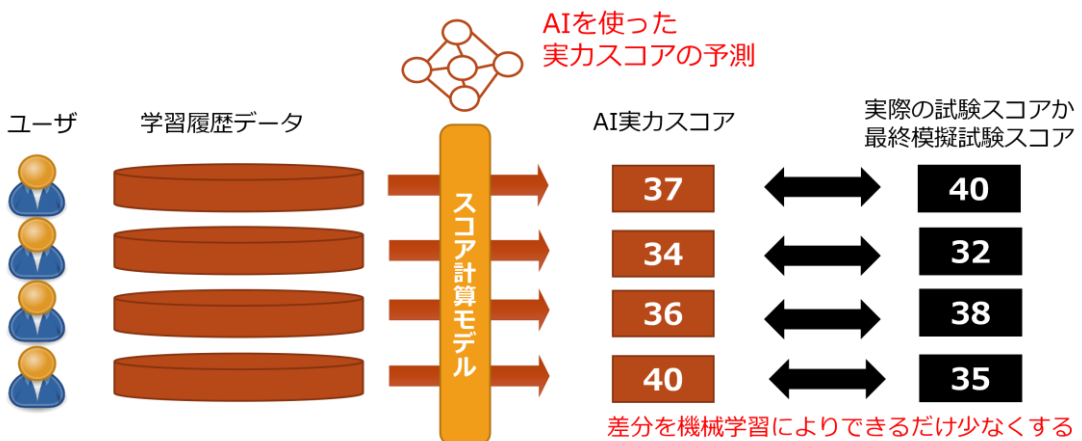


単元ごとのAI実カスコアは、独自のスコア計算ロジックにより計算をします。このロジックでは、主に以下のような場合にスコアが高くなるようになっています。

- ・その単元に関連する問題で高得点を取った場合
- ・その単元に関連する問題を何度も繰り返し学習した場合
- ・難易度が高い問題で高得点を取った場合

すなわち「問題で何度も繰り返し高得点を取る」「過去問など難しい問題で高得点を取る」ことで関連する単元のAI実カスコアが高くなります。

このAI実カスコア計算ロジックの計算では、AI（機械学習）が利用されており、スタディングの受講者の学習履歴データから、AI実カスコアを予測するモデルを実装しています。仕組みとしては、これまでの受講者の学習履歴データと、受講者から入手した実際の試験スコア（以下「実際のスコア」）をもとに、AIが予測したAI実カスコアと実際のスコアの差分を、機械学習のアルゴリズムによって最小化していきます。数多くのユーザのデータを収集しつつ機械学習で最適化をかけることで、スコア計算モデルが最適化され、AI実カスコアが実際のスコアに近づくのです。



■ オンライン資格取得講座「スタディング」とは

「スタディング」(<https://studying.jp/>)は、短期間で合格した人々の学習法を徹底的に研究し、10年以上も改善を重ねてきた究極のオンライン資格取得講座です。

「忙しい方こそ、もっと活躍して頂きたい」その思いから「スタディング」は開発されました。

私達が目指しているのは、世界一「学びやすく、わかりやすく、続けやすい」学習手段になり、皆様の持っている可能性を最大限に引き出すことです。



■ KIYOラーニング株式会社とは

KIYOラーニングは2008年1月より「学びを革新し、だれもが持っている無限の能力を引き出す」というミッションのもと、すきま時間を活用し資格取得を目指す音声講座として「通勤講座（現：スタディング）」をスタートしました。2010年に法人「KIYOラーニング株式会社」を設立し、スマホで効率的に学べる学習システムを開発、動画コンテンツを充実させ、資格ラインナップの拡充、品質の向上を図ってきました。さらに、2017年には、法人向け社員教育クラウドサービス「AirCourse（エアコース）」も展開するなど社会人や企業教育を革新するプラットフォームとしてサービス展開を推進しています。

スタディングは、短期間で合格した人々の学習法を徹底的に研究し、10年以上も改善を重ねてきた究極の"オンライン専門"講座です。

世界一「学びやすく、わかりやすく、続けやすい」

学習手段を提供していきます。

<https://studying.jp/>

【会社概要】

会社名 KIYOラーニング株式会社

代表 代表取締役社長 綾部 貴淑

資本金 8億316万円（資本剰余金7億9412万円）

上場日 2020年7月15日 東京証券取引所 グロース市場(7353)

設立 2010年1月4日

所在地 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-10-1 永田町山王森ビル4F

社員数 78名

URL <https://www.kiyo-learning.com/>

事業内容 教育コンテンツおよび教育サービスの企画、制作、販売、運営